

青い波北陽台

平成30年12月21日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 野中光治

青い旋風 再び!

教頭 藤原 勝志

平成30年も残すところあと数日になりました。皆さんにとってこの1年はどんな年でしたか。先日、今年の世相を反映する漢字に「災」が選ばれました。確かに全国各地で大きな災害が続き、自然の脅威と人間の無力さを知らされた1年でした。寒さ厳しい中、今もなお不自由な生活をされている方々を思うと心が痛みます。私自身『生かされている』ということを改めて教えられ、自分の生き方を見つめなおした1年でもありました。

私にも大切にしている漢字があります。それは「志」(こころざし)。志とは心に思い決めた目標や目的、信念、生き方。そしてこんな言葉があります。「人の価値は、その人の持つ志の高さで決まる。しかし、その志は水の中にある塩や砂糖のように溶けやすくもろいものである」。夢や目標は思い願うことから始まります。それは人生の大きな活力となり、努力を続けるエネルギーになります。しかし、この「志」を持ち続けることは大変困難なことで、人としてのしっかりとした根幹、強靱な意志をもつことが必要であり、それは自らが努めて作り上げていかなくてはならないものでもあります。

人は人生の中で「こんなはずではない」という場面に必ず遭遇します。しかし、大切なのは、その時にどう考え、どう動くか、どれだけ真剣に目の前の自分に課せられた厳しい現実に向き合うことができるかだと思います。その時、道標となるのが、皆さんの「志」であり、そこに向かう「努力」なのです。

「努力をしても、必ず報われるとは限らない。しかし、努力をしなければ決して何も生まれない。」

昨年花園予選決勝ノーサイドの後、抱き合い歓喜する勝者をじっと見つめるラグビー部の選手と指導者。努力の価値を、ある決まった日の勝敗や結果に求めるならば、努力は必ずしも報われないという瞬間でした。しかし、ラグビー部は花園予選で敗れた次の日から雨の日も雪の日も泥にまみれながら攻撃・ディフェンスの練習を繰り返していました。時には身体から湯気が立ち上っていることもありましたが。彼らの目標は『花園』ではなく、県内無敗、そして「花園で勝つ」。その努力の結果が「県3冠」、そして残すは花園8強以上。

厳しい指導で有名なシンクロの井村雅代コーチは次のように言っています。「結果がほしい指導者や選手ほど流行に敏感です。しかし、ここが大切なところで、三流の人は流行ばかりを追いかけます。二流の人は新しい流行が来た、どちらがいいだろうと考えます。けれど一流は道を創るのです。三流は道に流され、二流は道を選び、一流は道を創る。」

勝つこと、夢を叶えることに近道はない。ただ、自分を信じて、どれだけ自分の限界を超える練習・努力を、粘り強く続けていけるかです。うすっぺらな努力を自慢する者ほど、結果を明日に求め、真の努力を重ねる者ほど、結果は自らの限界を超えた努力と「時」が運んでくると知っています。

北陽台ラグビー部には誰かのもの真似ではなく、長い間、先輩たちが誇りを持って築きあげてきた『伝統の道』があります。「鉄になれ!」「わが身を呈してボールを生かせ!」自分たちの努力を信じて戦いぬいてください。

ある者は花園で、ある者は長崎から、自分の「志」と向き合いながら全力で応援しています。

「受け継ぐ伝統 踏み出す未来 歴史をつなぐ 青き風」

頑張れラグビー部! 頑張れ3年生! 頑張れ北陽台生! 青い旋風 再び!

1年理数科研修旅行～最先端研究と理数科1回生との出会い～

1年理数科の40名は、12月4日(火)～6日(木)にかけて、つくば市の研究所(産総研等)、東京大学の本郷・駒場キャンパスの各場所で様々な研修を行いました。

最先端の研究についての講義・実験の受講、研究施設等の見学を通して“本物の科学技術や研究”の魅力を体験しました。また、本校理数科1回生の講演を聴き、自分の進路等について深く考える、いい機会となりました。



生徒の感想より

- 普段は何も考えずに当たり前前に生活しているが、身の回りの多くの研究者の方々の技術が沢山あることを知り、その技術が多くの人達に役立つのはすごいことだと思った。
- 産総研で見たり、学んだりしたことを生かして、これからの理数科の活動や課題研究に取り組み、自分の興味のあることは何か、しっかり探して見つけたい。
- 今回の卒業生の講演を聴いて、自分がどの分野に興味があり、どんな研究をしたいかなど、自分としっかりと向き合って進路を考えたい。部活動と勉強の両立はとても大変だが、夢実現のためにも頑張りたい。
- 卒業生の講演の中にあつた、「一つのものを生物・化学・物理の3つの観点から見るができる」とは今まで思っていなかった。自分の視野の狭さを感じ、これからは目的のものを一つの方向からではなく、様々な方向から見ようと思った。

いざ花園へ～2年ぶりの出場に向けたラグビー部の抱負～

第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会に本校ラグビー部が2年ぶり17回目の出場となりました。今年度はBシードということで2回戦12月30日10:45から鹿児島実業高校と魚津工業高校の勝者と対戦いたします。

出場に際しまして多くの方からの物心両面からの激励等をいただきました。ありがとうございました。本校ラグビー部は創立40周年という記念すべき年にきっと全国大会で青い旋風を起こしてくれるものだと思います。なお、1・2年生の有志と引率教員の約120名が29日に長崎を出発して応援へ向かう予定です。

ぜひ、北陽台ラグビー部の応援をよろしくお願いいたします。

ラグビー部主将山添君より

私たちは、品川先生、浦先生のご指導の下、花園に向けて日々練習に取り組んでいます。私たちの目標はベスト8以上。一戦一戦、チャレンジャーの気持ちを忘れず、勝ち続けていきたいです。また、今まで支えてくれた保護者、関係者の方々に感謝の気持ちをプレーで伝えられるように、頑張ります。



健脚くらべ ～長与の町を駆け巡れ～

12月13日(木)、例年3学期に実施していた本校の伝統行事「健脚くらべ」を実施しました。日頃の体育の8分間走等で鍛えた持久力を発揮し、1・2年生550人が琴の尾岳を折り返す厳しいコースを走破しました。

大きな怪我等もなく、無事生徒も完走した達成感に浸りながら、PTAの方のうどんの炊き出しをいただきました。

各班、クラスの表彰は以下の通りとなりました。

<総合>

1位:2年4組 2位:1年4組 3位:2年1組

<男子>

・1年

1位:3組1班 2位:2組1班 3位:7組1班

・2年

1位:7組1班 2位:5組1班 3位:4組1班

<女子>

・1年

1位:5組1班 2位:4組1班 3位:2組1班

・2年

1位:1組1班 2位:5組1班 3位:4組1班



各学年から～主任の熱いメッセージ～

【1学年】

「基礎の大切さ」

1学年主任 林 圭介

先日、京都大の本庶佑特別教授が、「免疫反応のブレーキを解除することによるがん治療法の発見」によりノーベル医学生理学賞を受賞しました。

お金の話になり恐縮ですが、賞金は共同受賞者である米テキサス大学の教授との折半で、約5,750万円だそうです。本庶先生の研究はすでに、免疫治療薬「オプジーボ」として実用化され、多くの患者を救っています。その特許使用料も合わせて、後進の研究者を育成する基金を創設されるそうです。「ライフサイエンスは未来への投資。ぜひ基礎研究にかかわる若い人を長期的に支援してほしい。」という言葉からも、基礎を突き詰めていくことの大切さが伝わってきます。

言葉の引用ばかりになりますが、「本当はどうなっているのかという心を大切に。自分の目でもものを見る、そして納得する。そこまであきらめない。そういう若い小中学生が研究の道を志してほしい。」とも言われています。「若い小中学生」の中には、「若い高校生」も入れて考えていいはず。今、各教科の基礎を身につけている段階です。将来、各分野で研究を続けられるような、自分で理解・納得した基礎力であってほしいと思います。

【2学年】

冬休みに向けて

2学年主任 下村かおり

先日、次のような言葉に出会いました。

he man who dares to waste on hour of time has not discovered the value of life.

—Charles Darwin

(平気で1時間をむだにする人は、人生の価値をまだ見出していないのだ)

私たちに与えられる時間は万人共通ですが、1日24時間の有益な過ごし方については、たくさんハウツー本が出版されるほど、人々を悩ませる種となっています。年末年始は自分裁量で時間を過ごす機会が増えるため、ともすれば何となく時が過ぎていく・・・ということにもなりかねません。もうすぐ冬休みですが、その前にしっかり目標を立てておきましょう。まずは自分とじっくり向き合うところから始めてみませんか。

【3学年】

Paint It Black

3学年主任 池田 裕一

全国的に年末です。サンタさんは来るでしょうか?来るとしたらどっさり赤本を持ってやってきそうで怖いですね。年越しそばは?紅白は?除夜の鐘は?残念ながら今年だけはゆっくり楽しめそうにない人がほとんどでしょう。

それもそのはず、年が明ければ大学入試センター試験様が手ぐすね引いてお待ちになられておられます。(WORDの文章校正機能がフル稼働中です。)あくまでも通過点に過ぎないとは言え、皆さんのここまでの学習の集大成であることはまちがいありません。そこで恒例のセンター試験で成功する人あるあるベスト3。(タイトルもいっしょ減ってきてます。)

- ① 持っていくものや交通機関の確認を1週間前に済ませている人。
 - ② 着るものや食事、睡眠時間に配慮してベストなコンディションを保っている人。
 - ③ 何回も復習して使い慣れた教科書・ノート・参考書をお守り代わりにしている人。
- 周到な準備と用意が幸運を呼び込みます。黒く・濃く・丁寧に正解を塗りつぶせ!

1月の主な月間行事予定

3日(木)、4日(金) プレテスト(3年)	19日(土)・20日(日) 大学入試センター試験(3年)
5日(土) 土曜自学(3年)	19日(土) 校外実力試験(1・2年)
6日(日) 自学(3年)	20日(日) 校外実力試験(2年)
8日(火) 始業式、校内実力試験(1・2年)	21日(月) 自己採点
9日(水) 校内実力試験(2年)	22日(火) 特別編成授業開始
10日(木) 百人一首大会(1年)	27日(日) ～3年個人面談
12日(土) 土曜自学(全学年)	28日(月) 修学旅行A班 出発(～2月1日)
17日(木) 凧あげ大会(2年)	29日(火) 修学旅行B班 出発(～2月2日)
	センター試験壮行式(3年)